

# 平成 2 2 年度 建設局予算要求方針

## 【目次】

- 1 平成 2 2 年度建設局予算要求総括表 . . . . . 2
- 2 平成 2 2 年度建設局経営方針 . . . . . 3
- 3 重点的に取り組みを行うもの . . . . . 4
- 4 事務事業の見直し等 . . . . . 1 1

# 1 平成22年度建設局予算要求総括表

## 【一般会計】

平成22年度要求総額	42,199,541千円
平成21年度当初予算額	41,504,058千円
増減額(対前年度比)	695,483千円(+1.7%)

### 主な事業 (単位：千円)

事業名	平成22年度 予算要求額 A	平成21年度 当初予算額 B	増減 A - B
道路・街路事業	27,567,638	27,741,426	173,788
公園事業	6,078,730	5,710,623	368,107
河川事業	3,783,795	3,194,308	589,487

## 【下水道事業会計】

平成22年度要求総額	53,971,540千円
平成21年度当初予算額	54,374,580千円
増減額(対前年度比)	403,040千円(0.7%)

平成22年度単年度資金剰余 321,975千円

### 主な事業 (単位：千円)

事業名	平成22年度 予算要求額 A	平成21年度 当初予算額 B	増減 A - B
浸水対策事業	3,500,000	1,719,000	1,781,000
地震対策事業	1,000,000	1,102,000	102,000
合流改善事業	4,200,000	4,521,000	321,000

# 平成22年度 建設局予算要求総括表

【一般会計】

(単位:百万円)

区 分	H22 予算要求	H21 当初予算	増減額	前年度対比
道路事業	14,908	14,074	834	5.9%
街路事業	10,480	11,498	△ 1,018	△ 8.9%
道路・街路事業 計	25,388	25,572	△ 184	△ 0.7%
河川事業	3,384	2,815	569	20.2%
公園事業	3,122	2,884	238	8.3%
急傾斜地等	62	54	8	14.8%
投資的経費 計	31,956	31,325	631	2.0%
道路事業	2,180	2,169	11	0.5%
河川事業	190	186	4	2.2%
公園事業	1,673	1,688	△ 15	△ 0.9%
維持管理費 計	4,043	4,043	0	0.0%
人件費・その他	6,200	6,136	64	1.0%
行政経費 計	10,243	10,179	64	0.6%
一般会計 計	42,199	41,504	695	1.7%
うち重点戦略経費	1,051	150	901	600.7%
うち臨時的経費	3,004	672	2,332	347.0%
うち義務的経費	6,018	7,528	△ 1,510	△ 20.1%
うち裁量的経費	32,126	33,160	△ 1,034	△ 3.1%

\* 土木職員費を含む。(H22は不確定のため、H21現計予算額を計上)

## 2 平成22年度建設局経営方針

建設局においては、「元気発進！北九州」プランに掲げる「便利で快適なまち」の実現に向けて、交通・物流ネットワークの構築など都市基盤の整備、小倉都心・黒崎副都心などまちの賑わいづくりのための支援、災害対策やバリアフリーなど安全・安心なまちづくりを進めます。

特に、平成21年7月の豪雨災害を受け、緊急に対応に必要な河川・下水道の浸水対策や、自然エネルギーや長寿命機器の導入による「環境配慮型の都市づくり」にも新たに取り組むこととしており、次の5つの方針を主要な柱として取り組んでまいります。

なお、「北九州市経営プラン」に基づき、引き続き「選択と集中」による効率的な事業の推進に努めつつ、身近な道路の補修や公園整備などの「市民生活密着型公共事業」を着実に実施してまいります。

- (1) 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化
- (2) 都市の発展を支える拠点地区の整備
- (3) 安全で安心な災害に強いまちづくり
- (4) 「環境モデル都市」を推進する環境配慮型の都市づくり
- (5) 都市基盤の効率的な活用・整備

### 3 重点的に取り組みを行う主なもの

(カッコ内は前年度当初予算)

#### (1) 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化

産業の振興や企業誘致を促進するため、物流拠点間のアクセスを強化し、広域的なネットワークの形成を図ります。また、地域間の連携を促進し、市民の交通利便性の向上等に資する道路ネットワークの整備を推進します。

- 2 ・ 継続

#### ☀ 主要幹線道路の整備

10,033,000 千円  
(11,783,666 千円)

新若戸道路、国道3号黒崎バイパス、国道199号砂津バイパス、  
(仮称)川代中原東線、砂津長浜線、尾倉ランプ(戸畑大谷線)、  
都市計画道路9号線(熊谷~高野) など



~ 尾倉ランプ(戸畑大谷線)イメージ ~

#### (2) 都市の発展を支える拠点地区の整備

小倉都心部、黒崎副都心部など中心市街地において、道路・公園・河川の整備による高質な都市空間の形成や、それらを活かしたまちの賑わいづくりの支援をおこないます。

- 1 ・ 継続

#### ☀ 中心市街地の道路整備の推進

3,700,000 千円  
(2,066,000 千円)

【うち890,000千円は「低炭素型の街づくり事業(8p)」の再掲】

小倉都心部 大門木町線、紫川東線、城内大手町線、浅野町線 など  
黒崎副都心 黒崎駅前線、中央町穴生線 など

### ☀ 小倉都心の賑わいづくり

30,700 千円  
( 30,300 千円 )

小倉都心でのスポンサー花壇や勝山公園の「うえるっちゃ！ 花壇」、紫川におけるカヌー体験など、小倉都心の賑わいづくりを推進します。

紫川周辺でのイベント開催  
( カヌー・Eボート体験など )  
花のまちづくり事業の実施



～ カヌー体験 ～

### ☀ 日本風景街道 北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”

12,000 千円  
( 9,000 千円 )



～ 街道ウォーク ～

長崎街道等（門司港～木屋瀬間）において、沿線で活動する団体等と行政が協働し、まちのにぎわいづくりやビジターズ・インダストリーを推進します。

### (3) 安全で安心な災害に強いまちづくり

災害に強いまちを目指した河川や下水道施設・道路の整備などに加え、公共施設のバリアフリーや交通安全にも配慮した安全で安心できるまちづくりを推進します。

- 1 ・ 新規

#### ☀ 水害から市民を守る緊急整備事業

(新規)

2,286,000 千円



～ 7月24日豪雨の状況 ～

本年7月の豪雨により各地で発生した浸水被害を受け、河川・下水道の緊急整備を行います。また、その他の河川においても浸水の危険性が高い河川について早急な整備計画の策定を行います。

さらに、治水力の向上のために雨水の流出抑制などの総合的な治水対策を検討するとともに、災害時の避難などに役立ててもらうため、河川水位などの情報を市民に提供する河川情報システムの整備を行います。

☑ 水害から市民を守る河川緊急整備事業 786,000千円

紫川、笹尾川、金剛川、東谷川、母原川など

☑ 下水道緊急浸水対策事業 1,500,000千円

恒見地区、吉志地区、沼本町地区など

- 1 ・ 新規

#### ☀ 市民生活の安全安心を守る 緊急災害点検・補修事業

(新規)

480,000 千円

道路・公園施設の緊急点検を行い、小規模の橋梁や歩道橋、道路や公園の法面等で災害が発生する危険性が高い箇所を迅速に補修し、市民生活の安全・安心の向上を図ります。



～ 歩道橋の補修・塗装 ～



- 1 ・ 継続

**☀ 浸水対策事業の推進** **4,274,409 千円**  
**( 4,357,587 千円 )**

浸水のない安全で安心なまちづくりを目指し、計画的な河川整備や下水道整備を着実に推進します。

河川改修 撥川、江川、板櫃川、金山川、神嶽川

雨水整備 門司駅周辺地区、曾根（旧空港跡地）地区、長行地区 など

- 1 ・ 継続

**☀ 災害時における緊急輸送道路の確保** **687,000 千円**  
**( 860,000 千円 )**

地震時に重要な役割を果たす緊急輸送道路上の橋梁を中心とした耐震補強や法面の補強などを実施します。

- 1 ・ 継続

**☀ 下水道の地震対策の推進** **1,000,000 千円**  
**( 1,102,000 千円 )**

重要な下水道施設が被災した場合に被害を最小限に抑えるため、管きよ及び倒壊等により重大な影響を与える施設の耐震対策を行います。

- 1 ・ 継続

**☀ バリアフリーのまちづくりの推進** **1,806,000 千円**  
**( 1,854,500 千円 )**

すべての人々が安全で安心して快適にらせるまちづくりを推進するために、歩道等の整備や公園のバリアフリー化（入口整備、手すり設置など）を推進します。

- 1 ・ 継続

**☀ 元気を支える公共空間セーフティ事業** **184,000 千円**  
**( 0 千円 )**

「元気なまち」を支える身近な公共空間（『道路』『河川』『公園』）の安全性の向上を図るため、防護柵の設置・改修や草刈等の更なる充実に取り組みます。



- 1 ・ 継 続

☀ 暮らしにやさしい道事業

200,000 千円  
( 200,000 千円 )

地域と行政が連携して、地域コミュニティの活動拠点である「市民センター」や「子育てにやさしい公園」等に、安全かつ気軽に行くことができるよう、周辺道路の質の向上（既存ストックの活用）に取り組みます。

- 1 ・ 継 続

☀ 地域に役立つ公園づくり事業

360,000 千円  
( 80,000 千円 )

地域コミュニティの活性化が図れるよう、各小学校区を単位として、「まちづくり協議会」など地域住民の総意を踏まえた公園整備（改修）を行い、利用しやすい公園整備を進めます。

## (4)「環境モデル都市」を推進する環境配慮型の都市づくり

「環境モデル都市」の推進のため、公共施設における太陽光発電やLED照明の導入、環境に配慮した公園や下水道施設の整備、環境学習、花と緑のまちづくりなどに取り組みます。

- 2 ・ 新規

### ☀️低炭素型の街づくり事業

(新規)

1,630,099 千円

小倉都心地区や黒崎副都心地区、若松区を中心街などにおいて、太陽光発電設備やLED照明を活用した環境モデル都市のシンボルとなる施設整備を実施し、環境負荷の低減を図ります。

また、黒崎副都心地区において環境面にも配慮した2公園を再整備するほか、勝山公園や水環境館等においてクリーンエネルギー設備の導入を行ないます。



～ LED照明設備のイメージ ～



～ 再整備を行う黒崎中央公園・蛸原公園 ～

- 1 ・ 継続



～ 板櫃川“水辺の楽校” ～

### ☀️環境学習の推進

10,782 千円

(11,335 千円)

「到津の森公園」「水環境館」「ほたる館」「板櫃川“水辺の楽校”」の4施設の連携による環境学習や紫川水先案内人育成事業などを推進します。

## (5) 都市基盤の効率的な活用・整備

都市基盤であり、市民共有の財産である公共施設を次世代に確実に引き継いでいくため、適切かつ効率的な維持管理を推進していきます。

- 3 ・ 継続

### ☀️ 橋梁の長寿命化への計画的な取り組み

70,000 千円  
(114,000 千円)

主に橋長15メートル以上の橋梁の維持管理において、「計画的に手を入れて長持ちさせる」予防保全型の考えを導入し、長寿命化(1)及びライフサイクルコスト(2)の最小化に努めます。

- (1) 状態を点検・評価し、予防的修繕をすることにより耐用年数を延命させること
- (2) 新設から維持管理までに要する生涯費用

- 3 ・ 継続

### ☀️ 道路サポーター事業 25,000 千円 (20,000 千円)

歩道の清掃や花壇の手入れなどのボランティア活動を行っていただける地域の団体を支援し、道路環境の向上と美しいまちづくりにつなげていきます。



～ 河川愛護団体活動状況 ～

- 3 ・ 継続

### ☀️ 河川愛護団体補助事業 490 千円 (480 千円)

河川の清掃や草刈などのボランティア活動を行っていただける地域の団体を支援し、市民と協働による河川環境の保全に努めます。



～ 公園愛護会活動状況 ～

- 3 ・ 継続

### ☀️ 公園愛護会補助事業 7,078 千円 (7,978 千円)

市民に身近な公園で愛護会の結成を促進し、除草・清掃等の日常的な維持管理および花壇作りなどを行います。

## 4 事務事業の見直し等

### (1) 道路・公園照明灯の見直し(見直し効果 5,544千円)

市内の道路や公園の照明灯で使用している約2,400灯の水銀灯を、ワット数は小さいが同等の明るさを持つナトリウム灯に交換することにより、電気料金の縮減を行います。

### (2) 道路照明灯設置工法の見直し(見直し効果 2,000千円)

道路照明灯の建て替えや移設時は、近くに設置可能な電柱が有る場合、新たに柱を建てずに、この電柱に設置して、工事費用を縮減します。

### (3) 下水処理施設における機器の運転方法の見直し (見直し効果 7,700千円)

下水処理における反応タンク内攪拌機の運転について、運転時間の削減を図り、電気使用料を節減します。

### (4) 効率的な事務執行体制の確立

道路、公園、河川、下水道整備等の局内事業の連携を密にして、より効果的で効率的な事業執行を図ります。

併せて、事業執行体制の見直しを行い、人件費の抑制に努めます。